大　学　生　活　紹　介

恵まれた環境の中で、刺激を受けながら自分の表現を磨けます。

小川 夢姫さん

東京藝術大学　日本画専攻３年
2020年度 日本画日曜専科／2021-2022年度 日本画本科
加納高校出身

1

2

3

4

私が東京藝術大学で学んでいて良いと感じるのは、学ぶ環境が非常に整っていることです。制作中や研究会の際に教授からアドバイスを受けることで、自分では気づけなかった視点を得られ、絵に対する思考が深まります。その過程で悩むこともありますが、それが新たな経験や発見につながり、表現の幅を広げるきっかけになっています。

また、アトリエ内に同じような力を持った仲間が24人おり、互いに刺激を受け合いながら制作できる点も大きな魅力です。さらに、大学周辺には美術館や動物園、博物館などが多く、モチーフ探しや学びの場として非常に恵まれています。こうした環境の中で、日々新しい刺激を受けながら自分の表現を磨けることに大きな喜びを感じています。

日本画専攻は日本画材や技法の講義があり、日本画についての考え方を深めることができます。最初は何も知識がなくても講義があることにより、自分の制作にも影響を与えることができるため、とても良い経験になります。その他にも藝大にはさまざまな専攻があり、講義の種類も豊富で日本画以外の技法や画材、考え方などもたくさんのことが学べるところが魅力的だと思います。

1. 制作風景　2. 源氏物語絵巻模写　3.「recollection」　4.「躑躅」

作品と深く向き合う時間が持てる場所

春日井 陽飛さん

愛知県立芸術大学　日本画専攻３年
2019-2020年度 基礎高１・２年専科／2021年度 日本画専科／
2022年度 日本画本科
阿久比高校出身

愛知県立芸術大学の魅力は、豊かな自然に囲まれた環境の中で、じっくりと制作に集中できるところだと感じています。大学のアトリエは森の中にあり、季節ごとに移ろう光や木々の色、鳥の声など、自然の気配を常に感じながら制作に向き合うことができます。自然の静けさに包まれることで心が落ち着き、作品と深く向き合う時間を持てるのは、この大学ならではの魅力だと思います。疲れたときには、キャンバス内を散歩したり、近くにいる猫たちと触れ合ったりして、気持ちをリセットしています。そうした小さな時間が、制作への新しい発想や集中力につながっています。

大学生活では主に、日本画の技法を通して、牛などの動物や城を題材に制作しています。どちらのモチーフも、形の力強さと静けさをあわせ持つ存在であり、描くたびに新たな発見があります。牛の重厚な体躯やゆるやかな動き、城の構造的な美しさや歴史の重みなど、それぞれが持つ独特の「存在感」をどう画面の中に表現できるかを常に考えています。

日々の制作を通して、対象を丁寧に観察する力を養うとともに、作品全体に一貫した雰囲気をもたらす構成力を磨いていきたいと考えています。これからも自然の中で感じた空気や、対象と向き合う中で生まれる感情を大切にしながら、自分らしい表現を追求していきたいと思います。

1

2

3

1. swimmingcrub　2. 牛歩　3. 郭

OB・OGからのメッセージ

全力でやりたかった私には十分なスケジュールと環境でした。

川﨑 麻央さん
日本画家

東京藝術大学　大学院美術研究科美術専攻日本画研究領域博士後期課程修了
2006-2007年度 日本画本科
益田高校出身

河合塾では高校3年生のときに受けた通信教育と、その後の浪人2年間でお世話になりました。現在、日本画家として活動し生計を立てています。

高校生までは運動部に入っており、美術にかかわることは特になかったと思いますが、高校2年生の終わりごろ、美大受験を自然に決意し今に至ります。正直何をきっかけに絵の世界に興味を持ったのかは分かりませんが、母が学芸員で雪舟の研究をしていた関係で雪舟の水墨画を見たり、いろいろな美術館に行ったり、一緒に史跡を訪れたりした記憶があります。幼少期にいろいろなものや人とかかわる中で、創造するという人間の行為自体にとても魅力を感じていたのは確かで、そこに私も何らかの形でかかわってみたい、飛び込んでみたいと思ったのだと思います。

私の出身は島根西部で県内には美術予備校もなく、これまで絵の勉強などまったくしてこなかったので、自分自身も両親も始めた頃は手探りの状態でした。当時は美大受験に関してのリアルな情報を得ることが難しい環境だったため、まずは通信教育から始めました。自宅で描き始めた数少ないデッサンの現物を島根から郵送し、ビデオテープ（VHS）で添削の返事が送られてきました。

ビデオ映像内の講師の先生から「1年ないし2年受験対策すれば藝大に合格できると思います」と言われ、なかなか自信が持てませんでしたが、その言葉を信じて美大受験を決意し、結果その言葉通り2浪を経て無事に合格することができました。

塾生時代の私は、両親からよく鬼気迫る顔で表情は固かったと言われます。初めての一人暮らし、ほとんどゼロからのスタート、自宅で一人描いていたころとは比べ物にならない緊張感でしたが、全力でやりたかった私には十分なスケジュールと環境でした。大勢の中で切磋琢磨しながら、自分の良さは他人と交わる中で気づき、疑いのない本当の自信となっていくのだということを知りました。

1.「音楽室は根の国」 170×215cm 紙本彩色

2.「算」 215×170cm　紙本彩色